

一般会計予算決算常任委員会
民生福祉分科会記録

令和5年9月14日

【開催日】 令和5年9月14日（木）

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午前9時～午前10時23分

【出席委員】

分科会長	松尾数則	副分科会長	白井健一郎
委員	大井淳一朗	委員	奥良秀
委員	福田勝政	委員	山田伸幸
委員	吉永美子		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】

議長	高松秀樹		
----	------	--	--

【執行部出席者】

副市長	古川博三		
福祉部長	吉岡忠司	福祉部次長兼高齢福祉課長	尾山貴子
福祉部次長兼子育て支援課長	長井由美子		
子育て支援課課長補佐	野村豪		

【事務局出席者】

局次長	中村潤之介	議事係主任	岡田靖仁
-----	-------	-------	------

【審査内容】

- 1 議案第66号 令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算（第7回）について

午前9時 開会

松尾数則分科会長 ただいまから一般会計予算決算常任委員会民生福祉分科会を開会いたします。本日は、議案第66号令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算（第7回）について審査いたします。まず、執行部の説明

を求めます。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 それでは議案第66号令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算（第7回）について御説明いたします。今回の補正は、6月30日から7月1日にかけての大雨により床上浸水したねたろう保育園の復旧工事に係るものです。最初に復旧工事全体を御説明いたします。資料1を御覧ください。A総事業費欄に記載した4,559万5,000円は復旧に必要な総事業費です。9月5日に国の災害査定を受けた結果、総事業費のうちの一部が補助対象となりました。国庫補助対象部分と対象外部分に分かれますので、最初に、国庫補助対象となる部分について御説明します。資料2を御覧ください。ねたろう保育園の平面図のうち青い網かけで示した部分が補助対象箇所です。具体的に申しますと、図面左側の玄関側から、一時預かり室、廊下を挟んで向かい側の乳児室・ほふく室及び1歳児室の床暖房交換とそれに係る床の貼り替え、乳児室・ほふく室のたたみ交換、遊戯室への出入口の建具不具合調整に伴う床補修2か所に加えて平面図には示しておりませんが、赤色、青色部分の巾木交換です。資料1にお戻りください。今、御説明した部分、国庫補助対象となる工事費用が、B国査定事業費欄の1,342万5,000円です。この列を縦に御覧になってください。園舎は建物総合損害共済に加入しておりますので、D保険対象外経費欄にある94万6,000円を国査定事業費から控除した額の2分の1に当たるE保険料欄の624万円が保険料として補填されます。国庫補助割合は2分の1ですが、保険料として補填された額は控除することとなりますので、B欄の1,342万5,000円からE欄の624万円を控除した額の2分の1に当たる、F国庫補助欄にある359万2,000円が国庫補助の額です。県費補助については補助割合が4分の1であることからG県費補助欄にある179万6,000円です。残る179万7,000円のうち、H起債欄にある170万円には一般単独災害復旧事業債を充て、一般財源は9万7,000円です。続いて、国庫補助対象外経費について御説明します。資料2を御覧ください。赤い斜線で示した部分が補助対

象外箇所です。具体的に申しますと、玄関側から相談室、廊下を挟んで向かい側の事務室、医務室、2歳児室、遊戯室、4歳児室及び廊下全面です。これらの箇所が補助対象とならなかった理由については、破損箇所や床面に不陸が見られないこと、現在は不具合が生じていないが、将来的な不具合を考慮しての交換や補修は補助の対象とならないことによるものです。しかし、市としましては、床下の乾燥具合が全て確認できていないこと、浸水の影響による将来的な不具合も想定されるため、床上浸水した箇所については全面床の貼り替えを行いたいと考えております。資料1にお戻りください。先ほど御説明した、国庫補助対象費用の右側、薄く色が変わっているC国庫補助対象外経費3,217万円が、A欄総事業費4,559万5,000円からB欄国査定事業費1,342万5,000円を引いた金額です。この列を縦に御覧になってください。国庫補助対象外経費部分の保険対象外経費は、D保険対象外経費欄にある63万円です。これを国庫補助対象外経費から控除した額の2分の1に当たるE保険料欄の1,576万9,000円が保険料として補填されます。この金額をC欄3,217万円から控除した残額1,640万1,000円が一般財源です。補助対象外経費については、施設の長寿命化又は機能強化を目的とした工事以外は起債の対象となりません。今説明した工事については、全体を8区画に分け1区画ずつ工事を進め、完成した区画ごとに検査を受け供用再開し次の区画の工事にかかる、を繰り返します。そのため全体的な工期は半年程度を見込んでおり、予算についても令和5年度及び令和6年度の2か年に渡ることとなります。資料1の下部、予算措置の歳出を御覧ください。令和5年度の工事請負費1,820万円については、総事業費4,559万5,000円の40%を前払金として支払うため、10万円未満の端数を切り捨てた額を計上しております。令和6年度の工事請負費2,739万5,000円は前払金を支払った残額を計上しております。続いて、歳入を御覧ください。保険料及び補助金は工事費用の実績に応じて支払われるため、歳入は令和6年度です。また、国庫補助と県費補助を分けて記載しておりますが、国の補助金を県が受けて市に補助する間接補助であるため、併せた額が県

から支払われることになります。起債については、年度ごとの支出割合に
応じ令和5年度70万円、令和6年度100万円となります。以上の説明を踏まえて、
一般会計補正予算書の7、8ページをお開きいただき、下段の3歳出を御覧
ください。11款災害復旧費、5項厚生労働施設災害復旧費、1目民生施設災害
復旧費を1,820万円増額するものです。この内訳は、14節工事請負費です。
この金額は総事業費の40%に当たる前払金です。この歳出に伴う歳入は、
同じページ上段の19款繰入金、1項基金繰入金、1目財政調整基金繰入金、
1節財政調整基金繰入金1,750万円及び22款市債、1項市債、10目災害復
旧債、3節厚生労働施設災害復旧債70万円を計上しております。続いて、
債務負担行為補正について御説明しますので、3ページをお開きください。
第2表債務負担行為補正（追加）は、先ほど御説明した令和6年度の工事請
負費について児童福祉施設等災害復旧事業として、期間は令和6年度、
限度額を2,739万5,000円とするものです。最後に地方債補正について御
説明しますので、4ページを御覧ください。第3表地方債補正（追加）は、
先ほど御説明した令和5年度の起債に係るものです。起債の目的は民生施
設災害復旧事業債とし、限度額70万円です。説明は以上です。御審査の
ほどよろしくお願いいたします。

松尾数則分科会長 執行部の説明が終わりましたので、委員の質疑を受け
ます。

大井淳一郎委員 資料2を見ると、赤い部分が単独事業、青い部分が補助
事業ということです。予算書を見ますと、今年度は国庫補助金がないこと
から、補助対象事業のところは来年度からになってしまうという印象を持
ちましたが、この点いかがですか。それと、今年度で赤いところの全て
はできないと思うんです。この今年度は赤いところのうち、どのあたり
まで工事する予定でしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 工事の順番については、まだ具体的に
きちんとした計画は出しておりません。今、ゼロ歳児を一時預かり室で保

しておりますので、まずはゼロ歳児室の復旧から取りかかりたいと思っております。そうしますと、一時預かり室があきますので、そこを代替の保育室として、順番に工事を進めていきたいと考えております。

大井淳一郎委員 一時預かり室は補助対象事業の青いところですね。国庫補助金が出ていない段階で取りかかれるということによろしいですね。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 補助金が下りるのは来年度になりますが、今年度から工事に取りかかることは可能です。

山田伸幸委員 先ほど1区画ごとと説明されました。区画というのは、一時預かり室や乳児室ほふく室などがあるんですけど、各部屋ということによろしいのでしょうか。それとも、例えば三つぐらいの部屋を1区画にするような形でしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 現在のところ、部屋ごとに工事を行う予定です。

山田伸幸委員 業者としては次々に工事にかかりたいと思うんですが、部屋ごとの工事が済むたびに国の機関の検査を受けるのでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 検査といいますのは、市内部の検査でございます。国の検査ではございませんので、時間を取るようなことはありません。

山田伸幸委員 青い部分が全部終わるのは、大体どのぐらいと見ておられますか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 現在の予定では、1区画当たり3週間程度を見込んでおります。

大井淳一郎委員 一般質問等でも出ていたんですが、いわゆる「居ながら工法」という形になります。今、市役所でも同じことが起きていますが、気になるのは騒音対策です。午睡などがありますので、そういった問題は避けられないと思うんですが、対応策はどのように考えておられるでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 園内での工事になりますので、音がすることは避けられないと考えております。できるだけ影響が少ないようにとは考えておりますし、また、園児の保育中に難しい工事は、土曜日、日曜日を使つての施工も考えております。

吉永美子委員 図面を見ると、かなり浸水してしまったと実感します。工事するための総事業費は4,559万5,000円ということですが、建設費は幾らでしたか。どのぐらいかけて建てて、今回、どのくらい修繕にかかるのかをまず聞きます。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 建物と機械設備の建築費は、おおよそ8億円であったと記憶しております。

吉永美子委員 このたびの総事業費としてAの額が上がっているわけですが、積算していく中で、一つ一つの部屋に対して幾らかかると細かく出ていると思うんです。計算方法はどのようにしているんですか。

野村子育て支援課課長補佐 工事費の積算につきましては、工事に係る全体の床面積がどれぐらいあるのかを計算しまして、そこに予定している単価を掛けたものを積み上げた形となっております。

吉永美子委員 方法は分かりました。それは内部で計算されたんですか。

野村子育て支援課課長補佐 積算につきましては、建設部の協力を得て行っております。

吉永美子委員 増額などはなく、この積算された範囲内の額で工事が終了する予定であるということですね。

野村子育て支援課課長補佐 こちらの工事につきまして、入札を行いますので、適正な価格になろうかと思っております。また、実際に工事をしていく中で何か突発的なことが生じた場合は、変更契約等もあり得るかもしれません。

吉永美子委員 早く工事してあげないといけません。入札時期は、可決されたらという仮の話ですが、どんなふうにこれからの予定を考えておられますか。

野村子育て支援課課長補佐 適正に入札を行いますので、可決していただけたら、速やかに入札の手続にかかりまして、一、二箇月くらいは準備にかかりますので、11月下旬までには契約を結んで、工事にかかっていきたいと考えております。

吉永美子委員 かなりの時間がかかってしまい、子供たちにはつらい思いをさせてしまうと思うんです。一時預かり室も被災していますが、一時預かりの事業はどうされているんですか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 一時預かりにつきましては、各保育室、つまり該当する年齢の保育室で、ほかの園児と一緒にのところで行っております。

吉永美子委員 現在のところ、不便は感じるけれど何とか続けていっていただけるということですね。工事が始まるまでの間、始まってからもそうです

けれど、子供たちに不便をかけるところで、執行部が一番気にかけているところはどこですか。子供たちの日頃の保育園での生活の中で気にかけておられるところです。これまでと全く違う状況で今いると思うんですけれども、どうですか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長　今、被災前と比べて一番保育環境が変わっておりますのが、ゼロ歳児の皆さんです。畳の部屋も水につかってしまい、一時預かり室には畳の部分がございません。そういった保育環境が変わることを懸念しております。マットを敷くなど、あまり保育に支障がないように工夫はしております。

吉永美子委員　現場におられる保育士や子供たちに意見を聞くことは難しいと思うんです。しかし、保育士は日頃こんなことで困っているとか、こんなことを工夫しているとか、要望も含めてですが、意見をどのように吸い上げておられるのでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長　保育の工夫につきましては、園長以下保育士がたくさん工夫してくれております。現在、保育に大きく支障が出ているという報告や相談は受けておりません。ゼロ歳の保育につきましても、今は一時預かり室で保育しているとお話ししましたが、給食については隣の育児相談室を使っております。部屋が別になるのでかえって落ちついて給食ができるので、そこはよかったというお話は聞いております。

山田伸幸委員　一時預かり室で保育しているゼロ歳児は、今、何人ほどいらっしゃるのでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長　ゼロ歳児は10人入所していたと記憶しております。

山田伸幸委員 担当の職員は４人で対応しているのですか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 はい、４人になります。

山田伸幸委員 一時預かり室に１０人の子供と４人の職員というのは手狭ではないでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 実際に遊ぶときにはゼロ歳児だけではないんですけれども、被災の前から廊下①の辺りも使って保育しておりますので、極端に狭いということはないと考えております。

山田伸幸委員 見に行ってみて初めて知ったんですけど、床下がもうほとんどないですね。全体的に床下は５センチメートルくらいだったと思うんですけど、実際には床下は何センチメートルになっているのでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 床下の空間は５３ミリメートルとなっております。

山田伸幸委員 それは全室ですか。

野村子育て支援課課長補佐 フローリングとしているか所の床下の空間は５３ミリメートルとなっております。

山田伸幸委員 そこに越水した水、何が入っているか分からない水が入ってきたと思うんです。これが完全に抜けるのに、いつぐらいまでかかったのでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 現状で床下の確認ができるのは点検孔の部分からになってしまいます。点検孔から確認して、目視できる範囲が乾いたのは、８月下旬から９月上旬です。

山田伸幸委員 普通は床下には人が入るぐらいのスペースがあって、いろいろなメンテナンス等も行うんです。ここの設計は当初からそういうふうになっていたということでびっくりしたんです。衛生面の心配はどうなんでしょうか。消毒液とか乾燥材とかをまいておられると思うんですけど、その辺はきちんとできているのでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 床下にたまっていた水は、環境調査センターに依頼して検査していただきました。その結果、有機化合物、有害な物質は検出されておられません。消毒につきましては、床を貼り替える工事をする中で、もう一度消毒を予定しております。

山田伸幸委員 なぜ床下は53ミリメートルになったんですか。

野村子育て支援課課長補佐 構造的な面について、建設部職員から聞いた話をします。昔の日本家屋は風をよく通す形を取っておりましたので、通風口を下に設けて基礎を高くしていたということです。ところが、最近ではエアコンなどで室内の空調を保つ傾向があるということで、風を通すというよりは、住宅を密閉して空気が逃げ出さないようにする傾向があるということです。そのために床下の空間部分が少ない構造になっていると聞いております。

山田伸幸委員 廊下も含めて全面的な貼り替えが行われるということですが、フローリングは何層になっているんですか。

野村子育て支援課課長補佐 床の構造は3層になっております。1層目は15ミリメートルの天然木の引き板の複合のフローリング、2層目は12ミリメートルの合板、3層目は20ミリメートルのパーティクルボードという構造になっております。

山田伸幸委員　かなり厚いフローリングを採用しておられるので、フローリングが浮くことはなかったと思うんです。しかし、その下が53ミリメートルしかないために、水が抜けたかどうかは確認できない。べた基礎にしてしまって、床下空間が一切ないものは見たことがあるんです。それはそういう構造なんだろうと思っていたんですけど、保育所は経年劣化等があるし、床板は木造になっておりますので、いずれは貼り替えていかなければいけません。特に建物は湿気を一番嫌うものだと思うんです。木造であるならば、なおのこと床下部分をしっかり取るべきではなかったのかと思うんですが、その辺の協議というのはなかったんでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長　建築の際にそういった協議があったかどうかは、確認しておりません。

山田伸幸委員　災害のときのことを確認させていただきたいです。主に玄関部分から水が入ってきて、それからグラウンドからも入ってきたと思うんですけど、もし進入経路が分かっていたら教えてください。

長井福祉部次長兼子育て支援課長　推測になってしまいますが、事務室や玄関側部分の浸水跡が一番深かったことを考えると、玄関側からの水が多かったと推測しております。

山田伸幸委員　4歳児室などのL字型構造の下部分は、グラウンドから水が入ってきたんじゃないでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長　4歳児室辺りは園庭側の窓から浸水したと思われます。

山田伸幸委員　そうであるなら、4歳児室には被害があって、5歳児室には被害がないのがよく分からないんです。これにはどういった理由があったんでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 3歳児室、4歳児室、5歳児室につきましては、廊下と教室数の間を隔てる扉が開いていたか閉まっていたかの差でございます。

山田伸幸委員 普通、退室するときに、最後に出る人が締めて出るものではないんでしょうか。本当に開いていたんですか。そのときの状況が分かっているればお答えください。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 4歳児室の入り口の扉は開いていたと報告を受けております。2歳児室につきましては、今、全面の床を貼り替える予定としておりますが、浸水したのは一部でございます。園庭部分に近い側からしか浸水しておりませんので、2歳児室についても園庭部分からの染み込みと考えております。遊戯室につきましては、図面上側、北側部分の窓2か所が吐き出し部分でございますので、遊戯室についても吐き出し部分からの染み込みと考えております。

奥良秀委員 今の話を聞くと、対策を取っていれば被害はもう少し減ったという見解でよろしいんでしょうか。要は、災害が発生する前に窓を閉めておけば、被害は小さかったという見解でよろしいですか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 おっしゃるとおり、出入口を閉めていれば、被害はもう少し小さかったと推測します。

奥良秀委員 今回の資料の中の保険料等々の歳入について、今回は新築して初めて被害があったので、こういう補助が頂けると。先日の一般質問の中でも、「絶対につからないとは言えない」と発言されたと思うんですが、今後、このようなことが起きた場合に、このような補助は頂けるんでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 保険につきましては、1回限りとは聞いておりませんので、被害の内容にもよると思いますが、適用されると思います。同じように、国庫補助につきましても、被害の状況や復旧の状況によっては該当する可能性がございます。

奥良秀委員 2枚目の資料中で、青いところが補助部分で、この中には床暖房が入ってきていると思うんです。このたび入れられる床暖房は、つかる可能性があるところに設置されますが、防水機能はあるんですか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 交換後の床暖房について、今回は復旧ですので、グレードアップは考えておりません。ただ、今後につきましては、園の敷地に水が入らないような防水対策、止水対策をしっかりと考えていきたいと思っております。

奥良秀委員 今回、かさ上げして浸水が起きないようにすることで議会が可決した園舎において、浸水が起きたわけです。水の力はすごいので、対策を取っても100%安全とは言えないと思うんですが、いかがですか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 止水対策は、どこまで想定するのかという話になります。極端に高い擁壁を造るような対策は難しいと考えておりますので、今後の水害を100%防げるとは言えないと考えております。

奥良秀委員 費用対効果を考えたときに、電気製品を浸水想定箇所に置くことはどうなのかという検討をされているんでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 今回、浸水した部分に電氣的な設備を置いていたと。水害は100%防げるものではないのですが、やはり冬場の保育を考えますと、乳児組には床暖房は必要だと考えております。

奥良秀委員 快適な保育について、山陽小野田市内の保育園の中で、床暖房がある保育園はどれだけあるのでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 私立保育園では床暖房をどの部屋に入れているかという調査をしたことはございませんが、改修等をされるときに床暖房を入れられる傾向にはございます。

奥良秀委員 快適な育児の環境を目指すことは分かりますし、改修時に床暖房を設置するのも分かるんです。しかし、従前のまま設置すると、またわかりますね。防水対策をしても100%つからないとは言えないのであるならば、つからないように考えて設置していかないといけないと思うんですが、いかがでしょうか。施設の防水対策も必要ですが、もう少し高い場所に設置するなどを考えたほうがいいと思うんです。

松尾数則分科会長 それは床暖房についての質疑ですか。

奥良秀委員 もちろん全部です。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 今の御意見は、床暖房だけではなく、園舎の床の高さそのものをかさ上げするべきということですか。

奥良秀委員 言い方が悪かったです。私が言ったのは、床暖房が何回も何回も水につかると問題があるので、そこは考えていただくほうがいいのではないかと質問しています。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 防水機能付きの床暖房があることは調べておりますが、完全な浸水に対してもそれは有効なのか。もう一度調べてみたいと思います。

大井淳一朗委員 日の出保育園の審査で、調理室は1階よりも2階のほうがい

いんじゃないかという提案もありました。今回は大丈夫だったみたいですが、今後、調理室も万全とは言えないと思うんです。こちらに対する防水対策など、今後、何か対策を打っていくことはあるんでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 調理室につきましては、特に工事は考えておりませんが、ソフト面の備蓄品等については、2階の遊戯室に移すなどの工夫はしております。

大井淳一郎委員 今、治水対策の話が出ました。防水シャッターとか擁壁とか、いろいろな提案が出ているところですが、今は検討中ということです。今どのような手法を考えておられるのか。また、その際には補正予算を組む必要があると思うんですけれども、その場合は一般財源になるのか、その点についてお答えください。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 今後の止水対策につきましては、まず、園の駐車場の入り口が2か所ございますが、そこに対する対策が何か必要だと考えております。また、園舎の三方を擁壁で囲んでおります。北側、桜川の西側、南側を擁壁で囲んでおりますが、民間のアパートがある側には目隠しの塀しかつけておらず、そこが少し低くなっておりますので、何か対策が必要と考えております。予算につきましては、まだ手法がはっきりと決まっておりませんので、金額の積算も終わっていない状況ですし、そこに対する補助等があるかどうかは調べておりません。

山田伸幸委員 外側の園庭から水が入ってきたということは、あまり密閉されていない開閉扉だったのか、あるいは、そもそも浸水を想定しないままに木製の扉をつけていると思うんですが、いかがでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 園庭に面した側の保育室の窓には普通のサッシをつけております。木製ではなく、特に密閉がよくないものではないと考えております。

山田伸幸委員 水はグラウンド側から入ってきたわけですね。それはサッシの間をすり抜けて入ってきて、廊下全体に広がったということなんでしょう。ですから、サッシそのものが甘かったんじゃないかと思うんですが、いかがですか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 完全に水を防げておらず、中に水が染み込んできているわけですが、特に施工不良ではないと考えております。

山田伸幸委員 調理室にも浸水があったのではないのでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 調理室にも浸水しております。しかし、機器等に影響があるような深さではございませんでした。

山田伸幸委員 調理室の消毒等は何か指示を受けてされたのでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 塩素系の消毒液で消毒しております。保健所に調理室が水につかった旨を話して、何か検査があるのかと相談したところ、塩素系の消毒で消毒していれば再開して構わないという指示を受けております。

山田伸幸委員 調理室には研修室のドアから水が入ってきたのでしょうか。それとも廊下から水が入ってきたのでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 廊下からの水が多かったのか、研修室からの水が多かったのかについては分かりません。

山田伸幸委員 どこから水が入ってきたか分からないでは非常に困るんです。園内には監視カメラがあると思うんですけど、それで浸水箇所等は確認できないのでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 園内に監視カメラは設置しておりません。

保育室内を監視するカメラは設けておりません。

山田伸幸委員 カメラはどの辺りを向いているんですか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 ねたろう保育園につけている監視カメラは、屋外の不審者等の侵入に早期に気づくためのカメラです。

白井健一郎副分科会長 先ほどの話に戻りますけど、ゼロ歳児室は畳があるほうがいいというのは、子育て支援課がここを造ったときに設計されたのか、それとも、国の指針としてそういうものがあるのか、どうですか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 畳の設置につきましては、国の基準で定められております。

白井健一郎副分科会長 今、畳の部屋は使えずに一時預かり室で預かっているということですが、畳ではないことは問題ないのですか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 今後ずっと畳なしの保育室となるわけではございません。あくまでも被災による一時的な緊急措置でございますので、そういった場合には認められております。

白井健一郎副分科会長 今はゼロ歳児室の話でしたが、そのほかに1歳児から5歳児までの部屋があります。年齢に応じた部屋の特徴があると思うんですが、工事するときにはその部屋は使えないですね。そういうときに何か不都合はないのでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 保育室には、年齢や人数に応じて最低面積が決められておりますが、被災等の理由がある場合にはそこは一時的に

緩和されます。たしかに、本来の保育室でないところで保育するので、多少の不自由はございますが、基準に抵触することはありません。

松尾数則分科会長 10分ほど休憩して、10時10分から再開します。

午前10時 休憩

午前10時10分 再開

松尾数則分科会長 休憩を解きまして、審査を続行いたします。委員の質疑を求めます。

吉永美子委員 審査の中で疑問が出たんですが、4歳児保育室の扉が開いていなかったらもっと違ったんじゃないかという議論がありましたね。不思議なんですが、防犯上、電気の消し忘れとか子供たちの忘れ物がないかとかを退出時にチェックされるんじゃないですか。そういった決まりがあるべきではないですか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 おっしゃるとおり、電気やエアコンの消し忘れや忘れ物がないかという確認はしているはずです。

吉永美子委員 普通の家でも出かけるときにはチェックしますね。だから、家ではマニュアルはつくらないけど、公の施設では、どこをチェックして帰るなど、内々で決められたものがあるのではないんですか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 外と面した部分については、しっかりと施錠がしてあるか、例えば、廊下から園庭に出る部分の扉については確実に施錠を確認しておりますけれども、今回開いていたのは廊下を隔てた教室の扉なので、少し油断があったのかもしれません。

吉永美子委員 公の施設ですので、担当される職員の責任として、内々でのチェックリストなど明文化したものがあべきではないですか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 例えば、日々の戸締まりや消灯を確認したかというチェックリストがあるかどうかは承知しておりません。今後につきましては、必ず最後に確認するように徹底していきたいと考えます。

福田勝政委員 保険料624万円は、公共施設専門の保険から出るんですか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 全国市有物件災害共済会の保険に加入しております。

福田勝政委員 国の補助の部分をもう一度教えてもらえませんか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 国の補助対象となった部分につきましては、資料2の図面を青く塗っている部分です。一時預り室、乳児室、ほふく室、1歳児室の床暖房の交換と、それに係る床の貼り替え、乳児室、ほふく室の畳の交換、遊戯室の出入口の建具の不具合が出ておりますので、その調整に伴う床の補修が2所、それから、図面上の赤、青両方の部分の巾木交換が補助の対象となりました。

大井淳一郎委員 点検口は10か所あるという意味ですか。それとも、10か所に増やすという意味ですか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 点検口は、現在10か所つくっています。

大井淳一郎委員 点検口では水が下から逆流して出てくるという指摘もあるみたいです。状況を調べるためには、カメラ等を使うほうが合理的じゃないかという意見もあるんですが、いかがですか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 浸水被害に遭うまでは、床下を確認できる部分がございませんでした。このたび浸水したことに伴い、床下部分を確認するために各部屋に床に穴を開けて、そこを点検口として残しております。カメラを入れて確認するにしても、何らかの穴を開けないと床下の確認ができるような部分がございますので、空ける穴の大きさにもよりますが、何らかの点検口は残したいと考えております。

大井淳一郎委員 既に10か所に穴を開けています。大きいカメラじゃなくて、胃カメラみたいに小さいもので、全体を見られるものがあるみたいです。私も詳しくないんですが、そういう手法を取れるんじゃないかと思うんです。そんなに大きいカメラは要らないと思うんですが、いかがですか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 点検口として残っている穴の大きさは、床下に残っている水をくみ出す穴としても利用したいので、30センチメートル四方ぐらいです。今後、床を貼り替えた後につきましては、工事を協議する中で、どのような形がいいのかを関係者とも相談したいと思います。以上です。

山田伸幸委員 床下を見るのであれば、小指程度の大きさのカメラがありますので、見ようと思えば見られます。それはどうでもいいんですけど、資料1の歳入のところで確認しておきます。左下の表、保険料や国庫補助、県費補助を含めて、今後、市の負担とならないのは、2,739万7,000円ということでしょうか。

野村子育て支援課課長補佐 全体を通してみますと、総事業費は4,559万5,000円ほどかかります。これに対しまして、歳入は起債を含めまして、2,909万7,000円となります。これを差し引いた1,649万8,000円部分が一般財源という財源構成となっております。

山田伸幸委員 入札減とかになると、この保険料だとか国庫補助、県費補助は減額になるんでしょうか。

野村子育て支援課課長補佐 おっしゃられるとおり、実際の支払ったお金に対してになりますので、それぞれ減額となります。

奥良秀委員 資料2のドアが閉まっていて、赤い斜線になっていないところの床はどうでしたか。床下には水が入ったんでしょうか、入っていないんでしょうか。

野村子育て支援課課長補佐 3歳児室、5歳児室のことだと思うんですけど、そちらにつきましては、床下の点検口を開けたときは、床下には水は確認できませんでした。

奥良秀委員 調理室を消毒されたということなのですが、鉄やアルミの調理器具が置いてあって、塩素系のもので消毒されたということですが、腐食など安全面の確認は取れているでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 塩素系の消毒液を使って消毒したのは床部分でございますので、機器等には影響は生じないと思っております。

奥良秀委員 生じないという根拠はどこにあるんでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 消毒液で機器等を拭くなどはしておりませんが、床面に接する部分につきましては、腐食等が起きないように注意しておきたいと思います。

奥良秀委員 床面に近いところにコンセント等の電気設備はあるんでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 そこまでは確認しておりません。

奥良秀委員　なぜこういう質問をするかと言うと、現地を見させていただいて、いろいろな御意見を聞かせいただいたときに分かったんですが、職員が消毒作業をされているんですよ。専門の方じゃないんですよ。だから、どこまで何をされたかという記録が残っているのか。塩素系の消毒液をどういうふうに、どういったものに対して使って、どの部分までやったのかという記録です。専門業者であれば、マニュアルに沿ってきちんとされるんですけど、職員の方はそういう講習を受けないと思います。どこまでやったかは把握できていないと思うんですが、いかがですか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長　今回の被災に関する記録については、記憶が確かなうちに残しておきたいと思います。

奥良秀委員　さっき消毒をやったと言われていましたが、やはり子供にとって衛生面はすごく大事だと思うんです。記録も何もないままで、今後何も問題が発生しなければいいですけど、発生したときのためにも、そういったものをぜひ準備されたほうがいいのではないかなと思うんですが、いかがですか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長　貴重な御意見ありがとうございます。記憶が定かなうちにそういった被災の記録を残しておくようにします。

奥良秀委員　先ほど9月上旬に点検口から水が見えなくなったという発言があったと思うんですが、水質検査はいつされているんでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長　検体を取ったのは8月23日です。

奥良秀委員　特に問題なかったという根拠は、悪質な物質がなかったから大丈夫ということか、それとも、何かしらの基準があって大丈夫だと言われたのか。その辺を説明してください。

吉岡福祉部長 水質検査は市の環境調査センターで測定しております。24項目にわたって有害物質を調査し、その全てにおいて有害物質は検出されていないという結果になっております。

山田伸幸委員 その24項目の中にはアレルギー物質も含まれるのでしょうか。

吉岡福祉部長 アレルギー物質も含まれております。

山田伸幸委員 掃除は、消毒しながらの掃除だったのか、それとも、単に汚れた部分を全部洗い流したり雑巾で拭き取ったりする掃除だったのでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 7月1日に清掃と消毒をしております。床部分については拭き掃除をしております。水拭き後に次亜塩素酸ナトリウムを薄めた液を雑巾に浸して消毒しております。

山田伸幸委員 浸水が始まった時間と水が引いた時間は分かっていますか。

野村子育て支援課課長補佐 浸水が始まった時間は確認できておりません。浸水の状況について確認できるものは、外に向けた防犯カメラでございますが、夜が開けるまでは真っ暗で状況が確認できない状態です。水が引き始めたのが6時半頃だったと記憶しておりますが、それは夜が明けた後ですので確認できております。

大井淳一郎委員 今までの話を聞いていると、屋外にカメラがあって、それは不審者対策だと。それは真っ暗で状況が分からないと。そして、屋内にカメラはないということです。災害はもちろんです、屋内の防犯面も含めて検討していかなければいけないんじゃないかと思うんですが、いかがですか。

野村子育て支援課課長補佐 屋外のカメラにつきましては、園児が園内にいる
ときの防犯対策用としてのカメラとなっております。園内の警備につき
ましては、職員が帰宅するときに機械警備を入れる形を取っております。

大井淳一郎委員 屋内の防犯はそれでいいかもしれませんが、屋内の浸水がど
のようなタイミングであったのかを見るためにもカメラは必要ではない
かと思うんです。この事業に入っていないのは分かっていますが、今
後の方向性として必要ではないかと思うんですけど、いかがですか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 保育室内に向けた防犯カメラの設置につき
ましては、研究させていただきたいと思います。

奥良秀委員 単独事業で改修する部分について、フローリング等々は何製のも
のを使われるんですか。木製とか鉄製とかいかがですか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 現状と同じ木製を予定しております。

奥良秀委員 先ほど説明の中で、将来不具合が出るから変える旨を言われたん
ですが、多分、木製だから水に濡れて異常膨張などをするから、将来的
に不具合が出るから片づけられると思うんですが、なぜまた同じような
ことをされるんでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 基本的に原状復旧を考えておりますので、
同じ木製の予定としております。

奥良秀委員 床暖房の件も言いましたけど、今から防水工事もされて、100%
に近いような浸水防止をされるとは思うんですが、万が一また浸水した
場合には、これは全て取り替えますよね。異常膨張する木材を使われる
のであれば、また取り替えることになると思うんですが、そういったも

のも研究して、濡れてもいいようなもの、つまり、災害に遭った場合でもすぐに原状復帰できる体制をきちんと取っていかないとまずいと思うんですが、いかがでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 これから工事の詳細を詰める中で検討させていただきたいと思います。

奥良秀委員 何度も言いますが、絶対に浸水しないとは言えない状況ですので、防水対策もそうですけど、子供たちの安全安心な保育を守る必要があります。保護者が働きやすい環境をつくっていくために保育所は大事だと思いますので、安心して預けられる場所であるためには、居ながら工法どうかではなくて、災害に強い体制を作っていないといけないと思うんです。だから、そういったものをぜひ考えていただきたいと思うんですが、いかがでしょうか。

長井福祉部次長兼子育て支援課長 災害に強い建物は、保育所として必要な機能だと考えますので、頂いた御意見を参考にさせていただきたいと考えます。

吉岡福祉部長 本日は災害復旧工事を御審査していただきましたが、今後につきましては、先ほどから御意見を頂いておりますけども、浸水がまた起こり得ることも想定しながら、外構工事等を含めて対策強化を考えていきたいと考えております。手法や工法が決まりましたら、新年度予算を待たずに、補正予算等で来年の梅雨時期に間に合うように審議をお願いしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

白井健一郎副分科会長 次回浸水する可能性があるという前提で話されていきますが、それはどうかと思います。たしかに、最近の豪雨は予想がつきにくいものでありますけれども、例えば、家を建てるときに自分の家は何度も浸水する危険があることを前提として建てるのでしょうか。やはり、

浸水が起こらないように何か工夫をすべきだと思います。

松尾数則分科会長 吉永委員から話があったチェックリストについて、部屋のかぎや窓などは最低限チェックすべきだと思いますので、その辺はきちんとお願いしたいと思います。その他質疑はございますか。（「なし」と呼ぶ者あり）なければ、質疑はこれで終了いたします。皆さんお疲れ様でした。

午前 10 時 23 分 散会

令和 5 年（2023 年）9 月 14 日

一般会計予算決算常任委員会民生福祉分科会長 松 尾 数 則